

報道発表資料

2018年7月17日

テクトロニクス、高速、低ノイズ化により高信号忠実度を実現した 6シリーズMSO(ミックスド・シグナル・オシロスコープ)を発表

ミッドレンジ・オシロスコープとして初めて全チャンネル同時 25GS/s のサンプル・レートを実現。
組込み機器エンジニアの工数と投資を低減

テクトロニクス(所在地:東京都港区、代表取締役: Kent Chon)は、本日、新製品 [6シリーズMSO\(ミックスド・シグナル・オシロスコープ\)](#) を発表します。6シリーズMSOは、ミッドレンジ・オシロスコープの性能をさらに拡張し、このクラスとして初めて、全チャンネル同時に最高サンプル・レート 25GS/s を実現した最高周波数帯域 8GHz のミッドレンジ・オシロスコープです。6シリーズMSOは、より高速に、より複雑になった組込みシステム設計に携わるエンジニアのニーズに応えます。全チャンネル同時 25GS/s のサンプル・レートが最大 4 つのハイスピード信号を同時に、正確に観測します。例えば、DDR3 のクロックと 3 つの DDR3 データ・チャンネルを同時に観測、解析できるため、全チャンネル使用時にサンプリング・レートが低下するオシロスコープで特性評価する場合に比べ、大幅に時間を短縮します。

新製品 6シリーズMSOは、高感度での測定時に特に重要となる低ノイズ性能も実現しているため、さらに優れた測定が可能になります。例えば、最新の組込み設計では、ASIC や FPGA デバイスにクリーンで正確に制御された DC 電源を供給する必要があります。このようなアプリケーションで 6シリーズMSOを使用すると、より高分解能、高精度で DC 電源ラインを測定するため、電源ラインの高周波成分が設計に与える影響を短時間に理解できます。

6シリーズMSOは、定評ある 5シリーズMSOと同じ革新的なプラットフォームをベースにしており、簡単に性能、機能をアップグレードできることから長期における投資保護が可能です。昨年発表した 5シリーズMSOは完全な新規設計プラットフォームを採用し、業界から数々のアワードを受賞しています。多くの革新技術は 6シリーズMSOにも継承されており、直感的なユーザ・インタフェース、静電容量方式のピンチ、ズーム、スワイプ可能な 15.6 型タッチスクリーン、革新的な FlexChannel® 入力、16 ビットの垂直分解能まで拡張可能な 12 ビット AD コンバータ、まったく新しいインダストリアル・デザイン、さらにオプションで Windows® 10 の OS も用意されています。

テクトロニクス、タイム・ドメイン事業部、ジェネラル・マネージャのクリス・ウィット(Chris Witt)は、次のように述べています。「組込みシステムにおける高性能化はさらに進んでいて、このトレンドには終わりが見えません。このようなシステム開発に携わっているお客様は、より高い周波数帯域、低ノイズ入力を求めています。ミッドレン

ジ・オシロスコープには同時に、優れた操作性、プロービングの容易さ、コンパクトなパッケージングも求められています。6シリーズMSOは、クラストップの性能と優れた操作性により作業生産性を向上し、お客様の製品の市場投入までの時間を短縮します」

新しいレベルの信号取込

高速信号を詳細に解析するというニーズに応えるため、6シリーズMSOは新しい低ノイズ・アンプである、TEK061というASICを開発しました。特に、数百mV p-pの信号におけるノイズを大幅に低減します。全チャンネル同時25GS/sのサンプル・レート、ハイレゾ(High Res)モードの使用により、200MHzで16ビットの分解能を実現しています。これは、電源ラインの微小ノイズが観測できるだけでなく、オシロスコープでは従来不可能だった非常に高い確度で測定できることを意味しています。

5シリーズMSOと同様、6シリーズMSOもアップグレード性に優れており、内蔵の任意波形／ファンクション・ジェネレータ、製品登録によるDVM(デジタル・ボルトメータ)、トリガ周波数カウンタの無償利用、オプションによるシリアル・バスのプロトコル解析が可能です。またOS(オペレーティング・システム)も選択できます。さらに、5シリーズMSOと同様、TLP058型ロジック・プローブを接続することで、1つのFlexChannel入力を8つのデジタル入力として利用することができ、非常に柔軟性に富んだMSO構成が可能になります。6シリーズMSOは周波数帯域もアップグレード可能で、簡単なライセンス・アップグレードによって1GHzから最高8GHzまで拡張できます。

拡張されたデコード／解析機能

テクトロニクスは急速に進化する市場要求に応えるために、次世代のプラットフォームである5シリーズMSO、6シリーズMSOに対して様々な機能を継続的に追加しています。5シリーズMSOの発表以来、テクトロニクスはどちらのプラットフォームでも利用可能な以下の機能を追加しています。

- CAN FD、MIL-STD-1553、ARINC429、SENTバスのデコード／トリガ対応(オプション)
- 車載用Ethernet、USB 2.0のシリアル・コンプライアンス・テスト機能(オプション)
- 拡張パワー解析(オプション)
- FastFrameセグメント・メモリ、エンハンスド・オートセットを含む、無償の新機能
- 6シリーズMSOの発表に伴い、ビジュアル・トリガ機能を追加し、新たにSPMIのシリアル・トリガ／デコード／サーチ、MIPIパワー・マネジメント・バスのオプションを発表

新製品の高性能プローブ

高速信号へのプロービングを容易にするため、今回、6シリーズMSOの性能レベルに見合った高性能プローブ・シリーズ新製品、[TDP7700シリーズ](#)を発表します。TDP7700シリーズは、周波数帯域が4GHz、6GHz、または8GHzのTriMode™プローブです。TriModeプローブは、プローブの移動やつなぎ換えの必要なく、ハイスピード・バス解析で必要となるシングルエンド測定、差動測定、コモンモード測定が行えます。このプローブはTekFlex™コネクタ技術を採用しており、プローブ先端にアクティブ・バッファを配置することで優れた信号忠実度を実現し、小さなテスト・ポイントへの機械的なストレスを抑え、はんだ付けチップ、同軸コネクタ接続、ハンドヘルド・ブラウザを含む、さまざまなDUTへの接続方法に対応しています。

さらに、テクトロニクスで実績のあるアクティブ・シングルエンド・プローブ、差動プローブのラインアップも拡充し、最高周波数帯域4GHzのTAP4000型、TDP4000型プローブも発表します。

製品価格

MSO64 シリーズ ミックスド・シグナル・オシロスコープ

Opt. 6-BW-1000	周波数帯域 1GHz	310 万円(税別)
Opt. 6-BW-2500	周波数帯域 2.5GHz	410 万円(税別)
Opt. 6-BW-4000	周波数帯域 4GHz	535 万円(税別)
Opt. 6-BW-6000	周波数帯域 6GHz	746 万円(税別)
Opt. 6-BW-8000	周波数帯域 8GHz	991 万円(税別)

TDP7700 シリーズ Trimode 差動プローブ 95 万 8 千円より(税別)

TAP4000 型 シングルエンド・アクティブ・プローブ 82 万 2 千円(税別)

TDP4000 型 差動プローブ 82 万 2 千円(税別)

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト／計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan/>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先

テクトロニクス 広報室 瀬戸

電話: 03(6714)3097 Fax:03(6714)3667

Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。